

令和5年度 第1回鶴岡市景観審議会 会議録

○日時

令和6年1月22日(金) 13:30～15:20

○会場

鶴岡市役所 別棟2号館 第21～23号会議室

○出席者

【景観審議会委員】

早稲田大学 名誉教授 佐藤 滋 氏

山形大学農学部 名誉教授 野堀 嘉裕 氏 (景観審議会会長)

設計計画高谷時彦事務所 代表 高谷 時彦 氏

湯田川温泉つかさや旅館 女将 庄司 愛恵 氏

山形県建築士会鶴岡田川支部 事務局長 秋野 公子 氏

山形県建設業協会鶴岡支部 監事 笠原 俊一 氏

日本造園建設業協会山形県支部 副支部長 土田 一彦 氏

日本グラフィックデザイナー協会 山形地区幹事 さとう れいこ 氏

フォトグラファー 本間 聡美 氏

鶴岡商工会議所 副会頭 阿部 廣弥 氏

環境省羽黒自然保護官事務所 自然保護官 渡邊 元嗣 氏

山形県庄内総合支庁 建設部長 佐藤 亨 氏

【事務局】

建設部 部長

建設部都市計画課 課長、主幹、主査

建設部都市計画課都市計画係 係長、都市計画専門員、専門員、主事

○欠席者

なし

○公開・非公開

公開

○傍聴者の人数

2人

○次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 鶴岡市の景観について
4. 会長・副会長の選出
5. 説明事項
(1) 鶴岡市中心市街地将来ビジョン中間案について
6. その他
7. 閉会

○内容

1. 開会（進行：事務局）
2. 挨拶（建設部長）

【委員紹介、出席者数の報告、会の成立宣言】（事務局）
3. 鶴岡市の景観について

【鶴岡の都市景観 山水の造景】（講師：佐藤 滋 氏）
【鶴岡市における景観形成の取組み】（説明：事務局）
4. 会長・副会長の選出
委員の互選により、野堀嘉裕委員を会長に、秋野公子委員を副会長に選出。
5. 説明事項（議長：鶴岡市景観審議会 会長）
(1) 鶴岡市中心市街地将来ビジョン中間案について

会長

それでは説明事項ということで（1）鶴岡市中心市街地将来ビジョン中間案について、まず審議会資料より事務局から説明をお願いします。

（説明：事務局）

会長

はい、ありがとうございました。

ただいまのビジョン中間案について、ご意見を伺いたいと思います。

委員①

綺麗に整理されていると思います。この先 15 年後どうありたいとありますが、どうありたいかだけではなくて、現状として、例えば賑わいに関わっている商店街自体の連携がとれていないなど、とにかく問題点を洗い出して、それを含めて考えていかないといけない。現状どうしていかなければならないというところを、こうあったらいいねというところに、その辺をきっちりと踏まえた上で、事業を進めた方がいいと思います。何年かけてもなかなか繋がっていかない商店街もありますし、それから駅前マリカも食文化の拠点としても、本当に役割を果たしているのかと思うところがあります。この先、建物をリノベーションして、食文化を基本としての、料理を作ったり展示したり、そういう別の意味での使い方や連携をする。今山形市でも学校をリノベーションしていますが、マリカでもいいわけですし、そういうのが鶴岡に一つあれば、食文化を掲げるだけの都市、まして駅前ですから顔になる。サスティナ鶴岡で子供たちに料理を教えているメンバーがいますが、そういう人たちも使いやすいような、そういった意味での支援とか繋がりとかを大切にしていかなければならないのではと、それが鶴岡の食や歴史のその文化自体を高めていく方向に繋がっていくのではないかと考えています。

色々な現状の中から、この先どうありたいかというのも重要ですが、現状をどう活かしていくかという視点も問題点も拾い集めて、これに取り組むという中から進めていけたらいいと思っております。

会長

ありがとうございます。

この中間案ですが、私は最初に拝見した時に、非常に上手くできていると思いました。例えば、大学の論文の理論構成で見ると、最初にその背景として 2 ページ目が来て、こういう背景があって意見があるので、そこに想定される取り組み例があって、その上にまちづくりの方針があってというように順番を考えるとしますが、この案はそうになっていない。最初にありたいまちの将来の姿を 5 本柱で提起して、それに対するまちづくりの方針が示されていて、想定される取り組み事例がある。そして、実はそれをまとめるにあたっての方針の要素が 2 ページ目にあるという構成になっている。非常に上手くできていて把握しやすいと思いました。

そして今、委員から意見のあった現状把握については、資料 3 ページ目の 2 段目ブロックに書かれていますが、面白くできていました。そして 3 ページ目に、キャッチフレーズについて今後議論していくということがありました。それから最後のページには、参考資料として 15 年前の出来事も書いてあります。今回目標とする基本計画には、平成 30 年に作られた基本計画があって、これが今年度で終了して、1 年間かけてビジョンを策定し、令和 6 年度にきちっと作っていこうという概念になっていると聞いています。

さらに皆様からのご意見、ご質問等を受けたいと思いますので挙手をお願いします。

委員②

今回の将来ビジョンについて、様々な世代にヒアリングをしていて、非常に素晴らしくまとめられていると思いました。先ほどの委員の意見と似たような形になりますが、例えば、移住した方とかお試し移住の方で、やはり少し合わなかったとか、上手くいかなかったという方も中にはいると思いますが、そういった方たちにもヒアリングして、何が問題だったのかという課題を拾い集めていくと、より深まっていくと思っています。

また、移動に関して、市民の目で考えると移動しやすいのかとは思いますが、やはり観光客の目で考えると、なかなかまだ難しいところがある。その移動しにくさが地方の良さでもあるとは思いますが、ただ一方では、軽やかに移動ができる手段があるといい。例えば、アプリで予約できるような乗り合いバス、乗り合いタクシーなど、そういった新しい企画もどんどんスピーディーに取り組んでいけるとよりよいと思いました。

会長

ありがとうございました。他にご質問、ご意見伺っていきたいと思います。

委員③

非常に上手くまとめられているというのはそのとおりだと思います。ただ少し気になることとしては、ビジョンという、かなり具体的で目に浮かぶ形として市民と共有できればいいという思いが一方でします。そこに関して二つほど意見を述べたいと思います。

一つは、賑わいとか居場所とか機能でまとめるだけではなく、先ほどの佐藤滋先生の講話でもあったように、鶴岡らしさみたいなものをどうまちづくりで活かしていくのかということの一つ入れてみてはと思います。例えば、「城下町の都市計画・都市基盤を継承し、そこに明治大正昭和平成令和の人々の営みを積み重ねてきたまち。その時間の積み重ねが自然に感じられるまちでありたい。」といった内容です。この町はこうありたいということを書けたらと思います。あと、「高さが抑えられ落ち着いた雰囲気の中に、古いものと新しいものが共にある。建物だけの景観だけでなく、古い行事や人々の所作、行いなどが折々の風景に現れる。そういう意志の通る町でありたい。」など、少し具体的な言葉のイメージで鶴岡らしさみたいなものがあってもいいというのが一つ目の意見です。

もう一つの意見は、皆様分かりやすいという中で、反対意見でもないですが、もう少し具体的にできないものかという気がします。例えば資料1枚目の④の下の方に、高度地区規制の検証と事前明示性強化とあって、これは高さ制限を見直したという気持ちを書いているものだとして、そういう議論をするのは本当にいいと思いますが、せっかくビジョンの議論なので、まちの中でこういう高いものを作ったらこんな感じになりますと、こういう風にすることがいいかどうかという議論していきたいというように、少し分かりやすくしてはどうかと思いました。それに関して

言うと、例えば2ページ目、内川沿いの再構築による人の流れなど、そういったものを議論したいということだと思いますが、少し具体的に考えると、内川沿いの川端通りが拡幅されていますが、その通り沿いは駐車場に今変わりつつあって、残念ですが駐車場景観・まちなみになってきている。それでも諦めてはいけないと思います。そういう中で何ができるのか、そういう状態を何とか良くしていく。そういう道でよい道もありますので、今回資料にも記載してある長野などは、運河沿いに広い道があって、それを何とかしていこうということになっている。ビジョンとして、市民と共有したいということであれば、そういった少し具体的にここを議論していきたいという提示がほしい。そういう意見です。

会長

ありがとうございました。貴重なご意見だと思います。

今二つ、三つ、委員から意見ありましたが、事務局にて、現時点で何か答えることがあればお願いします。

事務局

まず、最初に委員より、現状をしっかり把握した上での将来像をというお話がありました。本日の資料は概要版ということで、このありたいまちの将来の姿やまちづくりの方針に重きを置いた資料の見せ方をしていますが、実際のビジョンは文章という形でまとめます。その中では、中心市街地の現状についても、数値を見ながら分析をしますし、そういったところも踏まえてこのビジョンを作っています。

続いて、委員からありました、移動などでは観光客の支援も必要なのではないかと。アプリを使用して予約できる乗り合いバスやタクシーなど、そういう具体的な取り組みについてのアイデアもやはり頂戴したいと思っています。そういった具体的な取り組みは、資料1枚目に記載されている想定する取り組みというところで、ここで具体的な取り組みを色々検討して、効果が高そうなもの、それから優先度が高いものについては、来年度策定する中心市街地活性化基本計画に具体的に位置付けて、実施に移していきたいと考えています。

中心市街地将来ビジョン・中心市街地活性化基本計画策定委員会において色々なアイデアを出して、基本計画を策定して参りたいと思いますので、他にもこういった取り組みもあるのではないかとというようなアイデアがありましたらお聞きできればと思います。

事務局

鶴岡らしさを見せていくという意見については、他の会議等においても、もう少しビジョンにワクワク感がほしいと、市民が読んだときにワクワクできるものがほしいと意見があり、それはおそらく先ほど佐藤滋先生から講話をいただいた鶴岡という景観の特徴だったり、委員がいったような鶴岡らしさの一部だったり、そういうことをもっとちゃんと示すことができれば、繋がる部分もあると担当としては考

えています。最終案の作成に向けて検討していきたいと思います。

委員①

少し気になることとして、15年後を考えたときに、人口が増えることはないだろうと、人口が少なくなっても皆が幸せに感じるまちづくりを基本にできないかと思います。それを打ちだせというわけではないですが、人口が少なくなったとしても幸せに感じていける方法を今から作っていかないといけないと最近特に思います。

毎年人口は減っている、でも、逆に出ていった人たちが帰ってきてもいる。中心市街地に土地や家を買って、まだもう少し東京にいるけれど戻るからということで、手を入れて暮らせるようにしている人たちも出てきている。そういったことも考え、極端に増えることはなく減ることを前提として、一つ一つの事業を着実に積み重ねることが、一番求められていく気がしますので、その辺も少し考えていただけたらありがたいです。

会長

他、ご意見ご質問があるようでしたら、順番によろしくお願いします。

委員④

たくさんの視点を踏まえた案として、非常に完成度が高いものだと思います。環境という視点で一点、背景の中で次世代に引き継いでいける持続可能な都市構造ということがあり、今回概ね15年後を想定したビジョンということで、地球環境への持続性という観点がなかったのも、ぜひ追加して入れていただきたいと思いました。例えば脱炭素・脱プラスチックなど、都市構造が今後変わっていく中で、必ずそういった視点が必要になってくると思います。15年後、政府目標が達成されていけば、日本はCO2排出量を半分にしているはずのタイミングになっている。鶴岡市の中心部ということであれば、庄内地方全体へも影響があるかと思うので、ぜひそういった視点も入れていただきたいと思いました。

会長

貴重なご意見ありがとうございました。

委員③

今の意見はすごく大事だと私も思いました。ビジョンとして書くからには、中心市街地において、どういう住み方とか、どういう空間の構成の仕方が地球環境にやさしいのかとか、あるいは、どういう住まい方によって循環ができるのではないかなど、そういうことを議論するネタを入れてあるといいと思います。

このビジョンの中間案のまとめ方は機能で分けているので、整理はもちろんされていますが、それだけではなくて、これを実現するためにはこういうパッケージが

必要だとか、農村での地球環境にやさしい生き方と中心部のあり方はまた少し違う。そういうことも含めて、ぜひ議論できるような内容があるとうれしいと思いました。

会長

ありがとうございます。他、ご意見あるようでしたらどうぞ。

委員⑤

ビジョンについては、商工会議所でも色々ヒアリングを受けていて、市役所へも要望書を出していますが、ビジョンは確かに必要で、そこから掘り下げて具体的に考えていくことは非常に大事なのですが、もっとずっと末端まで掘り下げていくと、中心商店街にも住んでいる人がいて、お店を出している人がいて、商売をしていたりする。そういった人たちの意見を吸い上げているのかが気になります。

山王商店街では、昨年末に閉めた店が5店ありまして、商店街でも山王ナイトバザールなど、色々盛り上げようと、お店の活性化に繋げようと十何年していても、それでも店を閉めるのは色んな理由があります。私は日吉町商店街のことも大体分かるのですが、5年後10年後も大体想像がつかます。住んでいる人の顔がみんな見えますから、年配の方で今は頼まれたから少し店をしているけれども、5年後10年後はいないだろうと、これを言ったら失礼なことだとは思いますが、ここもあそこも多分店はもうなくなっているだろうということが見えてきます。銀座通りも同じだと思いますが、1店1店話を聞いていけば、もう店は閉めているが住まいがあり住んでいるなど、色んな事情があります。そういう人からも一人一人聞いていけば、将来は施設に入りたいだとか、戻りたいだとか、そういった本当の意見が色々聞けると思うのですが、どんなにすごいビジョンがあっても、その地主さんとかオーナーさんの賛同を得られなければできないので、ぜひそういった方々の、本当の現場の人たちの話を聞くと、何かそこからまた見えてくるもの、課題や対応策なども出てくるのではないかと思います。色んな方にヒアリングされているのはいいですが、ぜひそういった方々の意見とかを、もう少し大事にしてもらったらどうかと思っています。

会長

貴重なご意見ありがとうございました。では、続いてお願いします。

委員⑥

私は、このビジョンの議論には合わないかもしれませんが、具体的なことを提案したいと思います。

30年前に最上エコポリス構想を地元の方々や県と一緒に作ったのですが、30年が経過したので、記念シンポジウムを先日開催しました。この1年間、地元の方ともお話しをしましたが、新庄最上は若い人たちが外から入ってきて、すごく元気がいい。シンポジウムは、15人ぐらいの方を集めて実施したのですが、そこで発表

した人の半分ぐらいが地域おこし協力隊で来ていました。新庄最上では、まず地域おこし協力隊を市役所に入れるのですが、年間 400 万かかるそうです。制度創設時は、専門家でない人が来て何もできないだろうと思っていましたが、今は力を持った専門家が来るようになっている。例えばデザイナーとか、それから色々起業できる人とか、そういう人が入ってきて本当に頑張っている。農業関係とか、古い町家を改修して拠点にしているとか、色んなことをしている。もちろん全員が上手くいくわけではないのですが、地域おこし協力隊は、ぜひ取り入れたらいいと思います。鶴岡では地域庁舎で取り入れているようですが、都心でも活動してもいいとなっている。今鶴岡は、外に対してすごく魅力が発信されているので、いい機会だと思います。新庄最上では、地域おこし協力隊に魅力を感じて、何かできるのではないかとということで皆来ています。鶴岡にも色々やる気のある人たちが来たけど、なかなか定着しなかったのであれば、地域おこし協力隊は使うべき制度だと思います。

それから銀座通りでは、ワークショップをして、パークレットの社会実験をしています。隣接する川端通りが対面交通になれば、銀座通りは自動車が走る必要がなくなってくる。全面通行止めとは言いませんが、ゆっくり走るとか、それから駐車場として、道路のところに少し駐車できるスペースを作って人と共存できるとか、こういうことがもうできる状態にあるので、パークレット社会実験はもっとどんどんすればいいと思います。昨日の寒だらまつりと酒まつりは本当に楽しかった。通りで鱈汁を食べてお酒を飲んで、ああいうのを行っていく時期だと思います。ビジョンと一緒にそういうことを進めないと本当に手遅れになってしまう。やりたいことがたくさんあるのであれば、ビジョンと同時進行で進めるべきだと思います。

それから循環バス。なんであんなにスピード出すのかと思いました。昨日、海里に乗車したのですが、ゆっくり走っていたから海の岩肌とかが見られた。特急いなほに乗っていては見られないようなものが見られて、すごく楽しかった。庄内交通にも一周何分という決まりがあると思いますが、ゆっくり走ることがあってもいいし、ぜひ銀座通りに取り入れた方がいいと思います。銀座通りや山王通りにも取り入れて、皆がその通りではスピードを 30 キロに落として、車窓からお店を見たりできるようにと、ぜひ市からも庄内交通に言ってもらいたいと思います。

それからエリアマネジメントと書いてありますが、エリアマネジメントは鶴岡でもずっと検討されていて、私もずっと提案していますが、国土交通省の官民連携まちなか再生推進事業に、メニューとしてエリアプラットフォーム活動推進事業というのがあって、それは年間 2000 万から 3000 万を調査費や構想作成費として活用することができる。今でも続いていると思いますが、ぜひ鶴岡でも応募してほしい。言葉だけではなく、やはりそういうのはちゃんと応募してやるべきだと思います。ビジョンを作りながらそれを行動しないと、ビジョンを作って安心して、さあこれからこのビジョンを通して何かやろうでは、本当に手遅れになると思います。

会長

事務局の方で、今までのところでご意見があればお願いします。

事務局

まず、商店街など、個々の人たちの声を大事にしてほしいというお話がありました。ビジョンはビジョンとして様々な声を聞きながら、まとめを行っているところですが、その実行計画である中心市街地活性化基本計画、それを策定する中では、やはり補足的に色々市民の声をあらためて聞かなければならない場面も生じるかもしれません。いずれにしても色々進めていく中では、当事者の声を入れて進めていきたいと思います。

それから、地域おこし協力隊を中心市街地にも入れたらいいのではないかという意見については、確かに地域庁舎ではこれまでも何件も入っていただいて、成果を上げていただいた例もありますので、引き続き勉強していきたいと思います。パークレットとか、循環バスの改善とか、エリアマネジメントとか、すぐ行動を起こすべきだという話はおっしゃるとおりだと思います。当然ビジョンを作って計画を作って安心してそれで終わりということはないので、佐藤滋先生にも色々お聞きしながらこれを進めていきたいと思います。

会長

時間も迫っていますが、もう少しご意見を伺っていきたいと思います。

委員⑦

まず一つ、資料3 ページ目のまちづくり方針の設定の中に先進都市等の参考が載っていますけれども、おそらく色々な事例を調べているとは思いますが、例えば鶴岡市と同等の規模の市町村での色々な成功事例があると思います。この長野や石川もそうでしょうが、もう少し同じようなスタイルに沿った成功事例、もしくは失敗事例でもいいのですが、ある自治体でこんなことをこんな風にやっただけで、こんな風に失敗してしまいました、というような事例もあると思います。先ほど委員の発言にもあったように、鶴岡市でも色々なことをしてみた方がいい。失敗を恐れてしまうのは仕方ないことですが、もう失敗しても仕方ないというような気概ですること、必要ではないかというように思います。

それから、資料最初のページの説明にAIを使っているというようにお話がありました。その中で出てきた言葉が「できるまち」、「生み出します」という言葉で、資料の方針や将来の姿にも使われていますが、先ほどお話がありましたが、「らしさ」という言葉も実は必要ではないかと、私もずっと考えていました。例えばこの言葉を使えば、食文化創造都市らしさとか、歴史都市らしさとか。できるまちもよろしいですが、そういうらしさという言葉も一つのポイントではないかと思います。

それから「生み出します」のところですが、これは何々しやすいというように考えてはどうなのかと、こうするとしやすいのではないかと、何々しやすいという言葉の一つを考えてはどうかと思います。

会長

ありがとうございます。他にご意見ありますか。

委員⑧

私は建設業を営んでいるので、どうしても居住のところに目がいってしまうのですが、1月1日の能登の地震とかを見ると、やはり居住について安心して暮らせるまちとなると、防災も確実になされているようなところがいいと感じます。資料を見ると、ありがたい町の将来の姿というところに、豪雨災害等として防災について少し触れていますが、地震とか火災だとかについても、せっかくまちづくりをするのであれば、そういうのもある程度目標に入れた方がいいと思ったところです。

特に輪島の火災では、道路上に木造家屋が崩れまして、普通火事だと道路が塞がれることがあります。やはり道路を埋めてしまって、それから火事が広がったという話も聞こえてきましたので、防災や防火といった観点も、15年後に向けて少し入れた方がいいと感じました。

会長

貴重なご意見ありがとうございます。他にありましたらどうぞ。

委員⑨

私は鶴岡へ移住してきたのですが、鶴岡はとても良いところだといつも思っています。知り合いが鶴岡に遊びに来てもすごく空が広いし、市内観光しても道路が広いし、人がいないので、ゆっくり観光ができるのでとても良いまちだとよく言われます。

今回初めてこのビジョンに目を通して、とても多岐に渡るといことで少し照準がしぼれないと感じました。それぞれの課題を深掘りすると、たくさんあると思うのですが、やはり皆様が言っていたように、賑わいを目標にするんだったら、今はどういう現状であるか、その現状に対して、こういう課題があるから、こういうところを変えていかなければいけないという具体的な対策を練れるように、現状が提示されてあった方が考えやすいと思いました。

観光については、中心市街地の循環バスも大事だとは思いますが、その一方で湯田川温泉や湯野浜温泉などから市内に行けるようなバスが少なく、結果として、中心市街地に行くには9時半のバスに乗らないと、次のお昼過ぎの便まで待つことになる。交通機関は大変かもしれないですが、例えば鶴岡市観光案内所で貸し出しているE-バイクに乗って湯田川へ行くというのを、私も一度体験したのですが、施策としては可能だと思います。レンタサイクルもあると思いますが、そういう観光客に向けた対策というのも今後期待したいと思います。

会長

ありがとうございました。では続いてどうぞ。

委員⑩

資料を読んだとき、言葉が心地よくスッと頭に入ってきて、疑問というのが出てこないほど気持ち良く入ったのですが、それがもしこの心地よい言葉だけで終わるのは怖いと思ったところです。

これを叶えるために要になることはたくさんあるんでしょうが、例えば資料の②居場所の部分で、空き家のことを利用とあわせて処分のことも含めて考えないといけないと思いました。それから資料の⑤移動に、「この公共交通により」と書かれてありますが、公共交通が上手く回れば、その仕組みがちゃんとできれば叶うのであって、今市内循環バスが色々ありますが、自分が運転免許を返納した時にどうなるんだろうと思ってこの時刻表を見ると、果たしてストレスなく気軽に公共交通を使えるかとなると、少し当てはまらないところがあるので、この公共交通を充実させるというのが、すべてのこの組み立ての要になっていく。こういう大事なことがスツとした言葉の中にあっただよように思います。

それと少し気になることとして、観光のところの「酒井家庄内入部 400 年」の言葉。昨年一昨年、鶴岡市民は誇りとして聞く機会があったと思いますが、この酒井家庄内入部 400 年という言葉が出てくる前というか、それを意識する前まで、観光で大事にしてきたこともたくさんあるので、それも上手く入れてほしいと思いますし、それと少子高齢化については、こどもまんなかやそれ以外の部分でも触れてほしいと思ったところです。

以前、鶴岡致道大学でドイツの南シュヴァルツヴァルト自然公園協会のシェットレ事務局長がお見えになった時、その公園を運営するために、何年もかけて一人一人の意見を聞いて、そしてその公園が上手くいくように積み上げていったという、その道のりのお話をされました。これを中心市街地将来ビジョンの策定に置きかえると、例えば私も隣に住んでいる人も回覧版でこの中間案を目にして、自分もそれに対してちょっと考えて意見を持った、あるいは話したり届けたりする機会を持ちたいと思った、というシェットレ事務局長の方式が私は理想だと思っていますので、皆に意見が聞けるような方法があったらいいと思いました。

会長

ありがとうございました。

私からも一つあるんですが、15 年を見通して考えるということは、今中学生だったり高校生だったりする人たちが、もうすでに中心的に動かしていく時代になっていると想定すると、例えばスマホとかタブレットとかが完璧に使えるようになっている時代であるはずですが、だからそういうことも考慮していないと、今考える案だけが全てではないとつくづく感じました。

今日皆様からご意見が色々出ましたが、確認しておいた方がいいこととして、中心市街地将来ビジョンのスケジュールについて教えていただけないでしょうか。例えば今日はその概要版の中間案としてご意見いただきましたが、今後どのようにし

てこれが完成されていくのかを聞いておかないと、皆様心配でしょうがないということになるのではないかと思いますので、ぜひ教えてください。

事務局

これからの進め方ですが、先に申し上げたとおり、ビジョンは今年度中に策定し、公表したいと考えております。中心市街地将来ビジョン・中心市街地活性化基本計画策定委員会において、これまでも議論を重ねてきましたが、2月上旬に第3回目の策定委員会を開きまして、そこでこの中間案の中でいただいたご意見を踏まえた最終案を示し、修正があれば修正した後に、パブリックコメントなどの所要手続きを経て、3月には策定をしたいと考えています。

次に、来年度、ビジョンの実行計画である中心市街地活性化基本計画を策定することになります。具体的な事業のアイデアなど、そこでも十分議論をして参りますが、令和6年12月ぐらいまでに中心市街地活性化基本計画を策定し、それに基づいて令和7年度から具体的な事業を展開していくというような流れとなっています。

会長

ありがとうございました。

時間が過ぎてしまいましたが、一言発言を希望される方いらっしゃいましたら、挙手をお願いします。

委員③

今会長が言われたように、この資料は中間案ですので、今後どうなるかということですが、先ほど委員が言われたように、すごくよくできている文章なので、スッと読める。なぜスッと読めるかというと、今は機能的な分類しかしていないからであって、それを空間に落とすときは、色んな機能と機能が合わさったり、相乗効果を生んだりしますが、後半の部分で少しはそこに触れてほしいという気がします。例えば資料の②居場所だと、新図書館の話として「新図書館の整備など人が繋がる場となる施設の整備」。これはスッと入ってきますが、図書館を駅前に置いたらこういう形になるんじゃないかとか、商業地に置けばこうなるんじゃないかとか、馬場町のあたりの武家地だったらこんな形になるとか、そういうイメージがあれば、自分はどうじゃないとか、こっちがいいねとか、図書館の新しい姿はこの場所とするとどう整合性があるんだとか、そういう次のイメージが出てくると思います。だから、スッと読めるだけじゃなく、引っかかるところが多少はあったほうがいいのではないかなと私は思っていて、あと3か月ありますので、そこをぜひ詰めてほしいという気がしました。

会長

貴重なご意見ありがとうございました。今まで皆様から意見たくさん頂きました。

一通り全員から意見をいただきましたので、集約については事務局でお願いし、ビジョンを取りまとめる際の参考にしていただきたいと思います。

他にご意見ありますでしょうか。

それでは、説明事項は以上となりますが、全体を通して皆様から何かご意見がございましたら、挙手をお願いします。

では、説明事項は以上とします。進行を事務局へお返しします。ご協力どうもありがとうございました。

事務局

会長ありがとうございました。

そして委員の皆様からは貴重なご意見、多く頂戴いたしました。ありがとうございました。

6. その他

なし

7. 閉会